

# ICTで できる 自立活動

ICTを活用して、自立活動の指導を効果的に実施するために、学校の先生が、さまざまな情報を、授業づくりや教育相談等に活用できるWebサイトを開設しました。

子どもたちの「やってみたい!」を応援する先生のための参考資料です。  
ぜひ、ご活用ください。





# ひょうごつながる e-ブックの構成

## 学びたい

- **自立活動**の基礎的内容、指導内容・具体例  
(特別支援学級、通級による指導、特別支援学校)
- **特別支援教育におけるICT活用**に関する参考データ  
(国・県の研修、研修動画、教員長期派遣研修 など)

## 使いたい

- **障害種別**に応じたICT支援機器  
(視覚障害、聴覚障害、知覚障害、肢体不自由、病弱、発達障害等)
- 自立活動の**実態把握**に関するチェックリスト
- ICT活用に関する参考となる資料・マニュアル など

## 相談したい

- 兵庫県内※の「**支援マップ**」  
(障害種別に応じた、特別支援学校のセンター的機能)  
※神戸地区、阪神地区、播磨東地区、播磨西地区、但馬地区、丹波地区、淡路地区
- 自立活動・ICTに関する**関係機関**  
(福祉・医療・労働 など)

## 事業報告

- 「ICTを活用した自立活動の効果的な指導の在り方調査研究事業(文部科学省委託事業)」の報告【令和3・4年度】
    - ・ ICT を活用した自立活動の効果的な実践普及啓発リーフレット
    - ・ **実践研究校**※の取組  
(遠隔による指導報告、研究事業報告 など)
- ※ 県立むこがわ特別支援学校、県立姫路しらすぎ特別支援学校、県立あわじ特別支援学校、  
県立神戸聴覚特別支援学校、県立姫路聴覚特別支援学校、県立豊岡聴覚特別支援学校、  
県立神戸特別支援学校、県立西はりま特別支援学校、  
県立阪神昆陽高等学校、県立村岡高等学校

## 自立活動とは?

障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服するために、幼児児童生徒が、困難な状況を認識し、困難を改善・克服するために必要となる知識、技能、態度及び習慣を身に付けるとともに、自己が活動しやすいように主体的に環境や状況を整える態度を養う。

- |         |          |             |
|---------|----------|-------------|
| 1 健康の保持 | 2 身体の動き  | 3 人間関係の形成   |
| 4 環境の把握 | 5 心理的な安定 | 6 コミュニケーション |



## 参考資料

## ICT関連用語メモ

視線入力支援装置	専用の機器を使い、画面を注視（見つめること）で画面を操作することができる装置
音声入力ソフト	マイクに向かって話した音声を認識し、文字データとして入力するソフト
画面共有	パソコンやタブレット等に表示されている画面やデータを相手の画面に表示させる機能
フィッティング	調整を指し、一人一人異なる身体状態に合わせて能動的に操作できるように機器を設置し、環境調整を行うこと
AAC	拡大・代替コミュニケーション(Augmentative and Alternative Communication) 例:カード、文字盤、スイッチ、タブレット等

## ■「教育の情報化に関する手引」

文部科学省  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyouhou/detail/mext\\_00117.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_00117.html)

## ■支援教材ポータル

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所  
<http://kyozai.nise.go.jp/>

## ■発達障害のある子どもたちのためのICT活用ハンドブック

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyouhou/detail/1408030.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1408030.htm)  
 ① 特別支援学級編 兵庫教育大学編 ② 通級指導教室編 宮城大学編 ③ 通常の学級編 筑波大学編

## ■ICT夢コンテスト

日本教育情報化振興会  
<https://www.japet.or.jp/activities/promotion-of-ict-utilization/ict-dream-contest/>

お問い合わせ

兵庫県教育委員会事務局 特別支援教育課  
 〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10-1  
 TEL:078-362-3774

03 教 T2-004A3

自立活動に

ICTって

ハードル高そう。。。

ICTだから

簡単にできる

授業の工夫って？

令和3年度 文部科学省委託  
 「ICTを活用した自立活動の効果的な指導の在り方調査研究事業」

## 自立活動×ICT

オンラインより  
対面の方がいいのでは？子どもの実態に応じた  
ICTの活用方法は？ICTのどんな機能を  
使えばよいのかな？



# ICTを活用した自立活動の効果的な指導について

— 子ども一人一人の願いを叶えるために —

自立活動  
×  
ICT機器

記載されている事例のこれまでの  
プロセスは各事例の二次元コードから  
ご覧いただけます。  
事例一覧はこちらから



## CASE 01 | 特別支援学級での事例

### 【人間関係の形成×タブレット】 「交流学級に行きたい」

- 子どもの実態
  - ・集団からの視線が苦手、交流学級になかなか行くことができない
- 成果
  - ・子ども：交流学級で過ごせる時間が増えた
  - ・教員：リモートによる視聴が学習意欲の向上や友だちとふれあうきっかけになったことがわかり、特別支援学級での授業づくりの工夫に繋がった

#### 取組内容

- ・交流学級の授業や活動をリモートで視聴する
- ・視聴しながら、ノートやワークシートを記入する
- 使用 ICT 機器  
タブレット型パソコン(撮影用1台、受用機1台)、マイクスタンド、タブレットスタンド



## CASE 02 | 特別支援学校での事例

### 【身体の動き×視線入力支援装置】 「友だちとゲームで一緒に盛り上がりたい」

- 子どもの実態
  - ・障害による筋緊張から、身体をスムーズに動かすことが難しい
  - ・自分からすすんで話をするのは難しいが、新しいことにチャレンジしたい気持ちが高い
- 成果
  - ・子ども：力をぬくことができる姿勢がわかり、座位よりも長い時間画面を注視することができた
  - ・教員：画面を注視しやすい姿勢や注視の仕方がわかり、より伝わりやすい教材を考えた

#### 取組内容

- ・マウスとタブレットを組み合わせて、身体のかを抜いて、支度が安定する姿勢を試す
- ・自分の視線の動きに合わせて操作ができるゲームを友だちと一緒に楽しむ
- 使用 ICT 機器  
・タブレット、視線入力支援装置



## CASE 03 | 高校通感による指導での事例

### 【コミュニケーション×タブレット】 「自分に合うアプリを見つけたい」

- 子どもの実態
  - ・自分の言葉で説明することが苦手
  - ・会話が一方的でその場の雰囲気を理解しにくい
  - ・友だちからどう思われているのかが気になってしまふ
  - ・スマートフォンアプリを使うことが好き
- 成果
  - ・子ども：アプリの情報交換を通して、友だちとたくさん会話をキャッチボールができるようになった
  - ・教員：生徒が得意なことを通して、ライフスキルの向上に繋がれることがわかった

#### 取組内容

- ・自分の好きなことやすべきことに役立つアプリをタブレットで調べる
- ・調べたことを友だちと情報交換しながら紙に書き出す
- ・アプリを使って発表する
- 使用 ICT 機器  
・タブレット、スマートフォン



## CASE 04 | 難聴の通感による指導での事例

### 【環境の把握×遠隔システム】 「他校の同じ障害のある人と友だちになりたい」

- 子どもの実態
  - ・話すことは好きだが、友だちの音が聞き取りにくく、聞き間違いをするときもあり、不安になることがある
- 成果
  - ・子ども：様々な機器を使うことで、相手により伝わりやすい自己紹介シートを作成することができ、自分のことをよりよく知ってもらったことができ、次の交流を待ち遠しく思うようになった
  - ・教員：子どもの実態をよりよく把握することができ、日常の学習の取組に活かしたり、聞こえの遠いをより詳しく理解したりすることができた

#### 取組内容

- ・自分の好きなことや得意なことを含んだ自己紹介シートをプレゼンテーションソフトで作成し、より伝わりやすいように字幕もつけた
- 使用 ICT 機器  
・パソコン、タブレット



## CASE 05 | 特別支援学校での事例

### 【コミュニケーション×遠隔システム】 「安心して授業を受けたい」

- 子どもの実態
  - ・学校になかなか行きづらく、集団参加が苦手
  - ・自分の得意なことや好きなこと、将来のことを考えることが苦手
  - ・少しずついろいろな人と話ができるようになってきた
- 成果
  - ・子ども：リモートで参加することで、自分の安心できる環境で授業を受けられることができ、好きなことや得意なことが見つかった
  - ・教員：生徒の実態に即した学習環境の設定を考えた

#### 取組内容

- ・自分が安心できる環境で、リモートで授業の様子を見る
- 使用 ICT 機器  
・タブレット



**自立活動×ICTを効果的に指導するには 事前の把握が重要!!**

- 子ども・保護者の願いはどんなことですか？
- 子どもの得意なこと、苦手なことはなんですか？
- 使いたいICT機器はどんなことができますか？
- ICT機器を実際に試してみましたか？
- 自立活動やICTについて相談できる人は？